

プロ・アマ交流戦 活動報告

第1ラウンド

vs福岡ソフトバンク戦 [7月26日(火)雁ノ巣球場(福岡県福岡市)]

交流戦第1ラウンドは、福岡県で行われました。前日に移動して、バリーグ首位(試合時)のチームと試合が出来る貴重な時間。

1年生にとっては初のプロ・アマ交流戦でどんな試合展開になるか、不安ながらも楽しみでした。

結果は4回に連打を浴び、4失点。その後は7回にソロホームランを打たれて、交流戦第1ラウンドは、<甲賀0-5福岡ソフトバンク(育成チーム)>となりました。しかし、1試合通してノーエラーと、負けはしましたが、内容の濃い締まったゲーム展開でした。



■ 朝山 克彦 コーチ コメント



「敗れはしましたが、投手を中心に良く守り、終始緊張感のある試合が出来ました。学生達も守備面では手ごたえを感じていました。日頃の企業チームとの対戦もいつもワクワクしますが、初の九州遠征、今シーズン首位のソフトバンク戦、私自身いつも以上に試合前から興奮しました。選手のプレーからも随所に良い興奮が伝わってきました。今後は攻撃力を鍛えて、目標である都市対抗予選に勝利し、これ以上の興奮を選手と味わいたいです。遠路にも関わらず応援に来ていただいた保護者の皆さまありがとうございます。ソフトバンクのスタッフ、選手の皆さまありがとうございます。」

■ 柴田 健太 コメント

スポーツ健康科・1年 ファースト (DH) 大阪府 私立 精華高校



「対戦し感じたことは、打撃、守備、走塁すべてが積極的でした。プロの投手と対戦できたことは自分にとって本当に良い経験となりました。ここに入学してから、強豪の企業チーム、大学、更にはプロ球団と対戦し、自分の力の無さがよくわかりました。同時にどれだけの努力が必要か明確になりました。この試合の経験は必ず今後に活かし、目標の都市対抗予選勝利のために日々努力を重ねます。」

第2ラウンド

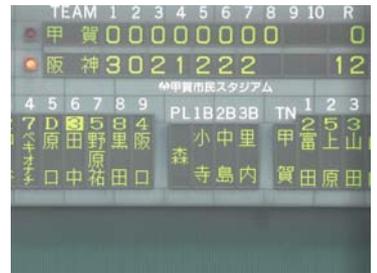
vs阪神タイガース戦 [7月29日(金)甲賀市民スタジアム(滋賀県甲賀市)]

第2ラウンドは何と、滋賀県に阪神タイガースが来てくれました。初めて甲賀市民スタジアムに阪神タイガースが来るとあって、当日は1000人を超える甲賀市民の方々が来場されました。普段、練習しているグラウンドに阪神の選手、多くの観客に熱い声援。何とか一矢報いたい心境であったが…

試合結果の方は<甲賀0-15阪神タイガース(育成チーム)>

ソフトバンク戦と同様の展開に持ち込みたところでしたが、15失点。ミスがミスを呼び、ランナーがたままったところを痛打され、さらには頼みの投手陣も崩壊…ソフトバンク戦の堅守はどこへいったのやら。一言で言ってしまうと「流石プロ」ですが力の差を痛感しました。

ただ交流戦を多く観客の中で出来た事は学生、そして我々にとっても貴重な経験となりました。



■ 藤本 政男監督 コメント



「プロ相手とは言え、ちょっと不甲斐ない試合でした。都市対抗予選を勝ち抜くには、やはり精神的な強さ、向かっていく気持ちが大事と改めて感じました。この経験を生かします。しかしながら大勢の皆さんが球場に足を運んでくれ、喜んで頂いた事は大変良かったです。阪神タイガースの皆様にも感謝です。来年も是非実現します。」

■ 谷 匠 コメント

スポーツ健康科・2年 (主将) センター 滋賀県立水口高校



「自分自身もチームも全力が出せず悔しいです。ただ、これが自分たちの力と認めるしかありません。「野球は守備が大切だ」という日々監督から口酸っぱく言われていたことが身に染みしました。先輩たちにはチームスローガン「全力と基本」を日々意識して、来年の都市対抗予選勝利のためにも今試合の経験を必ず活かしてもらいたいです。不甲斐ない試合でしたが、地元甲賀にプロを迎えて、大勢の観衆の前で試合ができた喜びは一生忘れません。」